撰鸚鵡返志　全

208
7

国立国会図書館　　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

208
7

# 鸚鵡返志

撰句

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

▲ちら[illegible]
見せ堀の禽に向ひ[illegible]
禽るゝ亦結り桃乃貝[illegible]せ
琴(コト)の[illegible]の[illegible]松
菅(ヨシ)友ハ[illegible]方[illegible]乃[illegible]鏡
月に[illegible]ハ廿年の鏡[illegible]
隅(スミ)くて大江を[illegible]
▲[illegible]
関の戸になれハ[illegible]人の[illegible]
縫箱(ヌイハク)[illegible]裏ハ[illegible]
紙(メイモク)同乃[illegible]なん。蓮の[illegible]
琴(コト)ハ川白[illegible]漱(ソヨ)く[illegible]女の[illegible]

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7
ガラス使用

風にかゝる滝布引の[illegible]

▲てうわうなり

黄金の牛ハ出用の[illegible]人

盗出し[illegible]ハ[illegible]ハかられ[illegible]

的[illegible]の[illegible]牛

[illegible]

[illegible]下馬[illegible]ハ[illegible]

子[illegible]ハ虎

▲[illegible]

[illegible]の[illegible]ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]

▲[illegible]

[illegible]巻や[illegible]の[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]代の[illegible]ハ[illegible]対馬

裏店の[illegible]ハ[illegible]の[illegible]

上ハ[illegible]の[illegible]

[illegible]ハ[illegible]

▲[illegible]

釋迦十ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

肌抱く子ハ何をむかし母の姿

▲とをしとをしたれ

布引きの人ハ布袋ゟ寛永寺

ゟ中の儀とやかゝる獅子ゟ

目ほひに註を立ロ意のかりしひや

引或吹小笛ゟ姉ゟ幕或主

編笠ハ忘何の関れ武蔵坊

▲めくりたれ

赤坂へゆくゝ池のまゝ子立テ

わが宿の持佛にくれハ七何ゝる

裏店のたゞ俳諧もくる事用

雨流ハ酔もなかれ芝四谷

▲清まりたりけり

鶴鮮の王をほるしまする對る

橋ゝ菊中浮ゝまてくゝ小ゟ名ひ

死ゝ東ゝ東ゝハさん家の実ゝから

牡丹花が滌絶ハ廿日とかゝち草

▲かゝひたれ

雨桐子ゟ無りとなりし雨鞠ゟ

ゝせ絶なふとりしや俗まん碧ゝ鼓

南菌を春ふ店も母の肌

父の杖母ハ鏡ゟ姿の雛子ゝ

▲さらやかしこし

恥なくて目敬ゝ不破の女姿

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

▲とりなしよけり

大かたの雷ハ儒(スルス)にあらる東仙
浅(モル)泪消る故やりをけむるがり
仲人の鮮辭せじと聊ケ音
相坂の関まん角ち芫芭(ジリ)の感(カン)
逆(サカ)毎をうぬよよあらの為ろ泥は

▲ゑん出されよけり

下戸くが玉の盃なすせひぐり
ゑんさがたら王様へ分まん二歩
日蓮ハ加田ちらの代まん泥(ドロ)をぬけ
あらぬハ樹(キ)屋を方さよ美妃様
手を負(ヲイ)しその東地蔵の化ケ納

▲うつむきよけり

西行が新きし浜るく柳うけ
浜くの浮世ゑ柳にさけまた
ゑん田が井さる幸ある四かなく
もかえ頃ケ風の花王の四方評
昨(ミ)の新(ロケ)を蟾(フマ)せしふなる勝(ヨホ)月

▲おもつおきまつり

西上浴人の八重樵乃雲田口
蓮花るまま(ナカバ)を分る詩議字ヶ
加藤なるして車何ろそ日平橋
角刀(スニヒリ)ゑる人も角刀の氣ゑ
猩々のキリに産井のうこれ是

▲梅もうれしやしく
意の関それを追ふのも毎日稽
絶母の角と談話の遊ぶ雛
瀧瘡も紅の瘢から出る泥湯
付ざしの毒を出へと出目の汐
なし火を思へしとなるなる
▲やくに立たりし
碑舟につゞく瓶子のたちけ船
玉潔の酒に乗元のまゝ挑灯
庭傘ひふの時雨と二度の礼
ふし世のまゝ抓かはや牛志南
うらもひの泥接さへ浮ゐ乃跡

▲あがめ丁ぞこれ
情る書彼人金しとなる柳
家服の布袋ハ戦人集之
鈎ハ徳意になれども毎日山
紫ハ雪白や漱ふ雲洪利
仮城の寿合書となりし時
▲うるしとすい
庚申を詩歌ハ寝ざるたまうざる
三味線の碪ところのふことのす
瓶に咲りやうに深出に蘆のむ
青くとしたら扇出る淵子青
拓舟く引き出に青虫や思れと

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7
ガラス使用

▲出くり入ッきり

氣の猿をせろすゑ家ハ老の月
殿の地に謡のかれんをうる楽屋
表門ハ人の通寶 寛永寺
湯に或夜御殿ゟろり御のゑ
渡る身ハ橋を四海のうつか舟

▲ざうさないまり

二の切ゝや紙くかりし 鯨が橋
弱辺の木二ハ言語くまべり家
手子座ハ身ハ芦原の鬼子母神
公時を清へハ日本 傳九郎
渡る蓋ハ牲が原引やうまむ

▲なりう渡くりりし

氣に易こ清に牛 殺屋ゟ十二家
江湖寺東ハ中牛の橋ゟ衣
石也牡丹めせしゑ紫めせ 紫
手ゟ弓やしんゑ也さんいろは茶屋
世にそし椀飯なりきやおまりり

▲居くり 立ゟへりし

白石垢ハ以干の漬さ和鳥
燕かゝく湯あけむこき 源波の流
源氏ゟと鷺と仰金る平家方
関白の身ゟも世といふ内裏ゟ
進おしや世を極世す行ゝ然

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7
ガラス使用

▲袖をひろくるし

子を帰ひ井戸に於ける器の両
小腕にハやりもごさうらく欲討
下に居せ河内縄手ハ鶴あらし
とまらんせ東寺みや元ゞ於康城
清玄寝の内ハ雨ゆにすゝる岡

▲くるりくとし

寛永寺なるハ卜谷ハ鶴の卦
どうせ給ふ石臼藝ハ世を引来
京清ハ如何ゝ後先故軍星
子人の居に元ハ國の月
大坂に於ける鸚鵡ハ雀

▲鶴を出しけり

新色て貴ふ蓋ハ同の藤浪
秋日の[illegible]蓋時ハ登譜代
大[illegible]の[illegible]ハまだ紀の康乃笛
[illegible]姫や姫の[illegible]に咲ク隣
小袖乞母のいりも[illegible]

▲塔の[illegible]

卜戸[illegible]ふ[illegible]に一[illegible]と続き[illegible]
板[illegible]世へさへ[illegible]る[illegible]月[illegible]
世話[illegible]も対の坊を縁
加茂川も乾ん一体乃手[illegible]の
子の闇も晴ゝて年[illegible]の[illegible]月香

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7
ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

▲ [illegible]
[illegible]
[illegible]
[

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

▲そくそくんなり

負母と八犹(なお)悔(くや)そんなのこと

赤札八芝居の筋(すじ)のやう

田舎もの八九十六銭乃(の)ほそ文

唐(とう)もろこし八粳(うるち)の黄(き)ミ

可(き)りさう無(な)い古町(ふるまち)の芸子(げいこ)

▲そく或(あるひ)ハそくもん

片(かた)ハしをミ粳の黄(き)ミ

百男も仕舞(しまい)ミ

とうもろこしの切(きり)ハ髭(ひげ)も黄(き)ミ

もあるそく語源のかゝる古(ふる)ミ

人(ひと)のうハさをするまい

寛政十一年

寛政十一年

寛政十一年

陽なるくわんぐるみ
世く極くゆく
武家の家
●いろ〳〵
仕うと
ものそれ
腹帯
後ひらる
神つき
●かく
(イカガ)
碇
(江ホイ)
あの
(ワガ)
側
(ヤブ)
薮
(ハイ)
灰
(マイー)
美
(ヤブ)
薮
(ハイ)
灰
(ヤブ)
薮
(ヤブ)
薮
(ハイ)
灰
(ヤブ)
薮
(ハイ)
灰
(ヤブ)
薮
(ハイ)
灰

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

衣紋坂まくなく脚半
淨子結ふ子乃ちあし
今ハちゆさぬ銀将の音
褌に接穂乃さつゝ計
●かく無つゝや
名にハちいさゝれ紫鳥
撓腰かつゝく吾男子
未産へまゝ子巻の足結
変成宿さん法へ悪
草鞋美りと抱り乗絢
竜隠と出く新の梅
海なさ甲斐に道の山

●清ゝちゝ
深木ハ陰奥の九十九束
関札うへ鳥 芝 恐
遠引くちがれひめ
●やまじと
似城ハ緒所をりむ紐所
後炭火雄ちゝ高者
智者のいりハ麟の角
●うまいもの
鶯の衾のぬまこ世帯
乳や母そふ地の又穀
文城姫よりも童の萩

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7
ガラス使用

之入物の如きハ必ず火雄
誰が誠より君の如き
鴨ゝ友伴ふ鴨乃地

●こゝろ〳〵と

小車市のたゞれ春
徳利も眠る日詩的ケ
かゝ海ゝ影をよける謝
アリハ鞠子(マリコ)なき蔵(ラリバ)る
主ゝ尾ある大ゝのたれ
猩く恋る先輩がけ
青柚(アヲユ)料理の如意宝珠(ニヨイホウシユ)

●かさゝ子ゝ



云の蔵家乃古本屋
有ゝ花月を地紙賣
酒が数まむ紙屋川

●こんなのなり

縞子乃氣力の柳腰
紙子とさすゝる家子の理
法紙かゝ月もる
家さゝらのかゞら際

●どうしく

毎年の言のふる世界
九十三歳の来活ゞ也
来(ヨタカ)殺撞(ソキ)出し侍(バンシマウ)漫(ヒ)る

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7
ガラス使用

●かたひしより
内裏の場ゆ乃七清苑
苑屋長サ二日草
分乃國の第伝授
桶ゞ世といふ又曲物
苑ゆ編笠龍乃幕
旅の産屋ゆ笠ゝ笠
生碑ハちゑ苑の幕
御ハ人ある袖乃浦
奏西の令世の稱ゝ母
●よいぶん
狐水を踰ム詠絵乃地

乃三酒く初る清ゆ
拍子ゆ乃ゆ琴の爪
寝ゆく素皮を逃雛
存夜ゆ無の黄ゆ
悪ひ車を引ク鼾
さんご毒指くけどる毒
鬼死ゆ今の鉛麻山
世ゆ見へる如郎丸
●志とやかに
江戸の出稿と分抱
出蔵の内へも琴の狮子
黄ひ乳の戸を乗り

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7
ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

鯖(ニヤ)はいちもしうく鯨
計(ハリ)ハ穂(ホ)は出(ヒ)く菁(ク)腐
身本かるものこれはまた
羽子板ハ温羽子ハ陽
●うつくしや
梅乃情らしく羽子
菜がら苦になる雪の鶏
どこぶよごれて云雨門
松の葉まる小袖幕
●さいはいや
子を拾ふ雨家の
ゆやの誓古く渡す女

口吉へ戸ふ姉也郎
白いよ所なる二月堂
頭よかゝ家となり舟
梅も梅(ホウ)姫屋敷舞
姫の戸ふと和葉特
今を持ちハ青もせん
かゝの結ともよ人ハ雨子
推拾(ミイヒロ)ハ止ム杉分乃涵
左逆(リセン)の庭に咲ク桔(キキ)板(マウ)
●さら姫ものの
鯨ハけも箸乃鏞(ミヤチ)
苦ハ混姫而姫樹のまゝん

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7
ガラス使用

火神の息而いつも除衆
一の徳備く死ス 鰥
二人 韓ゝかゝ夢の病
●なんぞさすする
夏嘉に始らきてあり山
まられかゝるの写に絡
唐宮にかゝるし 繼乃携
三年二閏の答者の書
乙子連理の迷さらう
●まんまるに
菓の絡とや命し協を
苦り楠やあゝの京をい

世と思ひし四方弾
浮世かゝる月の笠
書ゝ連の字ハ茅の絡
篇士ある時乃笠ハ役
●そらしと
菓乃菓を盛ぐ 濃扇
宮るとゝのつゝふ 内寢子ハ絶
ふりの御給仕 踏ム 水
書せて分に 訥のうち
狼と活きて 散り 桐
家の根を振に 硯石
海水吸ふ日 ゝ 焉

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7
ガラス使用

●ざらくと
物ニ用列数(オク)青芦の鶯
列数ノ舟 浪の おりし川
硝子 鳴る 横ノ 氷
●みドかきよ
明 安き 秀や 玉鬘(キヨクト)の尾
トよの花 大ハ折ニ落
世ニ田鼠のうつる夜
きり始ん 春 四國猪
繋(ナギ)り 繋(ヨコタ)ニ 姫(ガキ)の 春ん
切 浮(コロカ)ハ 梅のうしれ 愛
河しのかり 手の 家 右衛

※小倉一所
今ハ人でなくし羽織に合せ鬢
めぐりなひ 姫を 橋の 韓(カレフレ)丈人
めぐり 遠く 花乃口吸ふ 夜の九
春 遠く 春 家ハ 花の 物ニ 紀 袖
大江山 それより 浮ハ 菊 とり
鶴 かゝる 其 角の 漾ふ 蓮の 茶 泛
角 山ニ 比中(ナンチマリ)蒼(ハ)ミ 鳴 浮ゝめ
綻(ワヒ)始 見ハ 理(リ)屋(ハロ)の 文キ 泛上戸
湖の 音ハ 絶 泛 月 ゑの 僧ニ 浴 歌
[illegible]の 月 ゑに 落る 恋の 測
天津風 を 升ゝ 簀(ハ)干(ホ)ス 小袖 凡巾(タツ)

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7
ガラス使用

みちのくなる深草にあるのふ緑の毎
あ姫人をとりて徒の梓ら
山川にいの鉢 散ハ柳かけ
まち陰ハ牛ゝる犬 ゲンワン 太細工
あるうちあ夫ハ矢せんハ 檀の浦
あるにさく比丘尼 梅ゝ花の抜ケ花
あるにさく二ツ子 伊勢の文 思り
ん苗にたかも切し 浮世の髮
姫ハ花 散ハ墨となる 揚屋
ゴ世ちゆ詞 絵写 紙城ゝ あの罠ツ
りあとも 笑 換ゝ
姫ハ 白紫花ハ ゆゑ 絵メ

髮の香ハ 粥ゝ 為もなし 筒井筒
俄姫ハ 命を 今の筒りゝ也
又されハ ばんま 痙癖 ゲンヒキ ゆゑ さ
世の中ゝ 鼓姫 あも 鉄ゝ 成ハ 鶯鼓
姫ハ ゆれ ちきひ よん 今ゝ おすゝ 笑
りあとも 冥ゝ 為の 襟 ツマ と 襟

㊀ 源氏

香ゝ 上 瓷ハ 掛 寧 ヤリキ 来の 菓 鍍 鍍
浮 悪ハ の 誠 法 ゝ 法 乃 天ゝ 下

㊉ 鼓句

人 言も 月も 心のうそ 言とし
浮ゝ 来や 浦の 苔 法の 網代 打

おもふ人を待（マツ）宵（ヨヒ）ごゝろの指（ステ）ぬほどうき物はなし

琴の琴（コト）月の出（テ）にやあらしをの

代のをとをかくあるを雲のみ

久間よあまりかゝ一ぎの

弱ねのさゝら男ごゝろ

八重の舞そ袖見の

あるをものよそや角力のちから

秋風吹ちさゝれ地蔵

堪ふるふうき世のひ

みまわり

▲おもひ

景一ごゝろ添引そ競（きそ）ふ恋の

明石

ひとりふす物思ふ浦の

旅（たび）寝（ね）

浦（うら）ごとの二星方（かた）へかう

歌（うた）屋（や）の月いかばかり

紅（くれない）葉（は）のあやもうるはしく物

文（ふみ）

暇（いとま）乞（ごひ）よ名残（なごり）

物日毎（ごと）廓（くるわ）よ名勝（めいしょう）

三方て板の一膳（ぜん）

箸（はし）を持（もち）てうろ

ものゝ墨（すみ）ごゝろの

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

常盤よりむまへるるかへるる

▲ゆくとあまりけり

貴神やたつむ色をこの木綿

▲嫗ゝむしと

酒桃嬉連も不図に用ふ

▲ゆくとの

西亜ハ二さんの国も譲る畔

▲彩ひてきれ

光廣の家を明る詩 徐代養

所々行八町江郎 かる所 江

▲ゆらゆらゆく

蒼 嘲の友ハかきす乃 蒼かゝる

▲梅そるハいくい 歯地を

山といひ海と中さんさつ綱

▲矢をゆるゆしまふき 春風

五月のよりハ長 陰の獅子也し

▲仕人なるゆ

四江の 検 焊 の中から引出され

▲ちゝむしと

被より風にこゆくてびんの髪

▲自由しけり

天八の風を通して火 飯 舟

▲おまりなりけり

一風の通るひる乃一世五帝

▲のぼくかさりけり
ムコ
ちくさいろ毛嫁と候運理
▲なりふしけり
五の字の色明のさかりまるおもし
▲集ふりけり
ワクロ
初は市の布袋（ホテイ）やる角ゝ子
▲さらしけり
ワコ
初云二人家と様とよ別ゝ
▲いそしいなり
足元とるさちまちまちにお吸物
▲なるべ立ちけり
月様や五十六様（キ）乃おもしろし

▲寝ハ千年歳ハ万年
此ゝ為ハ粉紙乃代ハさられ云
▲何ゝ暮の世也
数九十ゝ月ハ光陰の矢ゆゑや
きのふこと此ゝ春も忘らず
▲門出しと御とこゝ
初深の数くかくふ海老者
▲ゆるよなり或 出様嫁ぐし
姉月の奥歯を出がくれ折く
▲ちのぞ一所と奥ゝ
浪報さぬ様屋風も松ゝ
▲言かりけり

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7
ガラス使用

いさ行くぬとまんさぐの居のむ

▲ぬもゑや

子の命終横に押ス車ヶ手

切く賣ル忌髮人のもかりじ

死ぬる僧入定の穴まどい

が身ハかくぬ旅う摺形のぬ

▲ぬさぬとのしし

按何ぞむ舞まろなくの萍(ウキノケ)ら

▲ぬさやらぬらの

母子板の絵に似て生の母子福共

▲長ッ如くるよと足の爪

裸(ゼン)子の児子ぞさく蓮(スルエ)麿がく

我もくしく

何所(どこ)く

穏(ハ)に

出(デ)ん

室引(ひき)の

東(ひと)

蔦(すゝき)

遊(あい)風(ぜ)や渚(ハさ)番(ざん)船(せん)ハ友(とも)軍(いくさ)

花(ハ)のよくのいわせ(ハ)も高(つぶ)

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

ごめんわき
[illegible]さきの横ねまろ
白鷺のきもとけまたか
きさかとることと一つもよ
きろくしと
[illegible]ハかり[illegible]よろ[illegible]
[illegible]腐のりみら旅ハ[illegible]
きのびねの[illegible]
[illegible]
[illegible]
今附ハ

みそかんだんも[illegible]流
さいのうらで[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
きりしと
初ハ[illegible]のてうつ[illegible]
碁[illegible]でよきり[illegible]
[illegible]のてきさ[illegible]
[illegible]
[illegible]の[illegible]

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7
ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

208
7

▲

如意寶珠汁鶏卵
有如意寶珠汁鶏卵
有如意寶珠汁鶏卵
有

208
7

国立国会図書館　　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用

国立国会図書館　鸚鵡返志 208-7

ガラス使用